

学校給食の放射性物質検査結果

【検査結果】

提供期間	検査日	検査結果 (Bq/kg)		
		放射性ヨウ素131	放射性セシウム134	放射性セシウム137
令和4年2月21日～2月22日	2月28日	不検出	不検出	不検出
令和4年2月24日～2月25日		(<0.59)	(<0.65)	(<0.54)

- ①検査機関：日本環境科学株式会社(山形市)に委託
- ②検査方法：ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメリーによる核種分析法
- ③検査内容：市内の小中学校の児童生徒に提供した給食1食分を1週間(5日分)ごとまとめてミキサーにかけたものを検査
- ④検査結果の()内の数値は、検出下限値を表しています。
- ⑤「不検出」とは、放射性物質が検出下限値未満であることを示します。
 - ・検出下限値とは、検査機器で測定できる最小の値のことです。
 - ・検出下限値は、検体の種類(食材の品目など)により測定ごとに数値が異なります。
- ⑥献立内容は、「給食献立の紹介」に掲載しています。
- ⑦食材内容は、「学校給食食材の産地」に掲載しています。

【参考】

厚生労働省による平成24年4月から適用される放射性物質の新基準値

(単位:ベクレル/kg)

	食品群	基準値	
放射性セシウム	一般食品	100	
	野菜類・穀類		
	肉・卵・魚・その他	50	
	牛乳		
	飲料水		10
	乳児用食品		50